公用美用 半 以 3-/188/

⑱日本国特許庁(JP)

印夷用新案出颗公開

® 公開実用新案公報 (U) 平3-71887

@公開 平成3年(1991)7月19日

SInt. Cl. 1

識別記号

庁内整理番号

B 25 J 9/06 9/10 17/00 8611-3F 8611-3F 8611-3F

D A B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

図考案の名称 水平多関節型ロボット

多类 顧 平1-134153

頤 平1(1989)11月17日

砂考 楽

豊彦

大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

の出 願 人 三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本递2丁自18番地

母代 理 人 . 弁理士 西野 卓嗣

外2名

朔 細 審

- 1. 考案の名称 水平多関節型ロボット
- 2. 実用新案登録請求の範囲
- (1) 回転中心から両端を張り出させた第1のアームと、前記第1のアームの駆動源となる第1のアクチュエータと、前記第1のアームの両端に延結された第2・第3のアームと、前記第2・第3のアクチュエータとを備えた水平多関節型ロボット。
- 3. 考案の詳細な説明
 - (4) 産業上の利用分野 本考案は水平多関節型ロボットに関する。
 - (ロ) 従来の技術

水平多関節型ロボットの作業能力を高めるため、従来から種々の工夫がなされている。

特開昭 60-48276号公報に記載された例では、平面上に固定された第1のリンクの両端に第2・第3のリンクを連結し、第2・第3のリンクの他端には第4・第5のリンクを連結し、各々のリンクに対し駆動源であるモータを個別に設け

1159

実開3-71887

た構成となっている。

17 考案が解決しようとする課題

上記装置は、第1のリンクの両端に1個ずつの水平多関節型ロボットアームを取り付けた形になっており、水平面内での動きを得るために計4個のモータを要し、装置コストが高くなっている。また2本のアームが衝突しないよう考慮しなければならないので作業プログラムが複雑化していた。本考案は上記の点に鑑みなされたもので、構成は比較的単純でありながら、高い作業遂行能力を有する水平多関節型ロボットを提供しようとするものである。

(二) 課題を解決するための手段

本考米ロボットは、回転中心から両端を張り出させた第1のアームと、第1のアームの駆動源となる第1のアクチュエータと、第1のアームの両端に連結された第2・第3のアームと、第2・第3のアームの駆動源となる第2・第3のアクチュエータとを備える。

的 作用

1161 1160

上記ロボットにおいては、第1のアームは第1のアクチュエータを駆動硬として回動し、第2・第3のアクチュエータを駆動硬として、そ1のアームとの連結部を支点にして回転する。そして、第1のアームの両端で、第2・第3のアームにより作業を行う。

第1図乃至第4図に基づき本考案の一実施例を説明する。第1図乃至第3図に水平多関節型ロボット1の構造を示す。2はペースで、支柱3を 理直に支持している。4は支柱3を回転中心として、両端を左右対称に設り出した第1のアーム4の ある。5は第1のアーム4の回転中心に位置のアカームで、第1のアーム4を回転させる第1のアーム4を のアーム4の両端にそれぞれ連結された第2・第3のアーム6、第2のアーム6と第3のアーム6と第3のアーム6、第1のアーム6と第3のアーム6、7と第1のアーム4との連結部にそれぞれ、7

を連結部を支点にして回転させる、第2・第3の アクチュエータとしての役割をする。第4図には 本考案の水平多関節型ロボット1を用いて構成し た作業装置の一例を示す。同図において、10は 水平多関節型ロボット1の周辺に設けられたコン ペアである。コンペア10は所定脚船をおいて図 示しないヮークを時計回りに搬送するものである。 11は第2のアーム6が作業を行う第1の作業場 で、12は第3のアーム7が作業を行う第2の作 業場である。ことではワークが第1の作業場11 を流れていく間に、第2のアーム6が図示しない エンドエフェクタにより第1工程の作業を行い、 後にワークが乳2の作業場12に避すると、第3 のアーム7が同じく図示しないエンドエフェクタ により第2工程の作業を行う。第1・第2の作業 場11・12におけるエンドエフェクタの勤きは 第1のアーム4と绑2・第3のアーム6、7との 合成運動によって与えられる。

次に第5図乃至第8図に基づき本考案の第二実施例を説明する。第一実施例と共通の構成要素に

114: 1162

は問一の符号を符し、説明は略す。ととでは、第 1のアーム14を回転中心に関し、左右非対称と する。また、第2のアーム6と第3のアーム17 も長さを異ならせ、より長い第3のアーム17を 第1のアーム4の長い方の端に連結させる。第8 図にはこの第二実施例の水平多関節型ロボット1′ を用いて構成した作業装置の一例を示す。同図に おいて、20は水平多関節型ロボット1′の周囲 に設けられたコンベアである。コンベア20は所 定間隔をおいて図示しないワークを時針回りに2 列に並べて搬送するものである。21は第2のT ーム6が作業を行う第1の作業場で、22は第3 のアーム17が作業を行う第2の作業場である。 ここでは、コンベア20の内側の列を流れるワー クに対し、第2のアーム6で所定の作業を行い、 コンペア20の外側の列を流れるワークに対し第 3のアーム17で所定の作業を行う。

(ト) 考案の効果

本考案によれば、第1・第2・第3の3個の アームを3個のアクチュエータで駆動することに

より、水平多関節型ロボットを2台並べるのと同等の高い作業遂行能力を得ることができた。

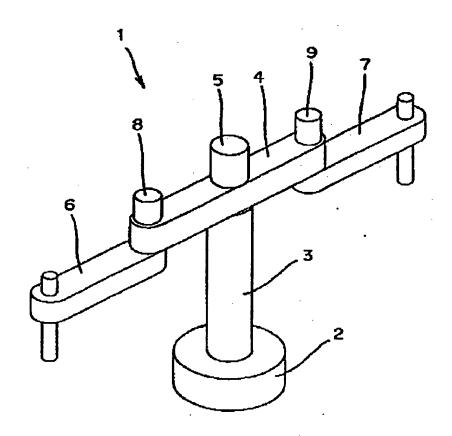
4. 図面の簡単な説明

第1図乃至第4図は本考案の一実施例を示し、 第1図は水平多脚節型ロボットの斜視図、第2図 は同じく側面図、第3図は同じく平面図、第4図 はこのロボットを用いた作業設置の平面図、第5 図乃至第8回は本考案の第二実施例を示し、第1 図は水平多関節型ロボットの斜視図、第2図は同 じく側面図、第3図は同じく平面図、第4図はこ のロボットを用いた作業装置の平面図である。

1: 1' …水平多関節型ロボット、4、14… 第1のアーム、5…モータ(第1のアクチュエー タ)、6…第2のアーム、7、17…第3のアー ム、8…モータ(第2のアクチュエータ)、9… モータ(第3のアクチュエータ)。

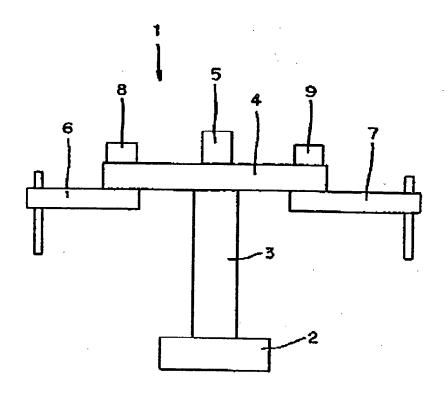
> 出類人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西野阜闕(外2名)

> > 1164



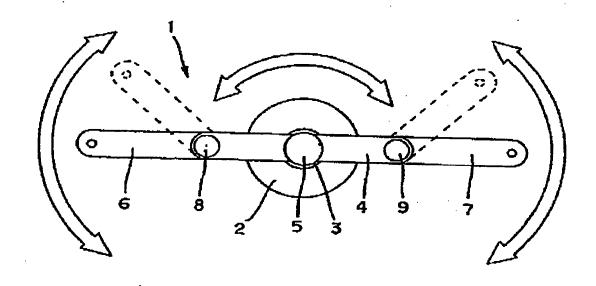
実開3-71887

第2図



1166

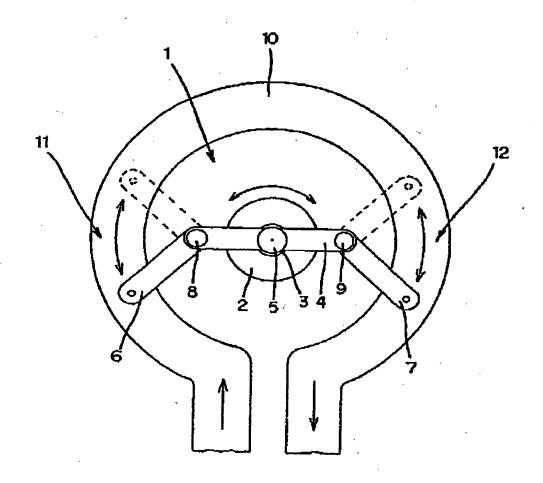
実開3-71887



実閉3-71837,

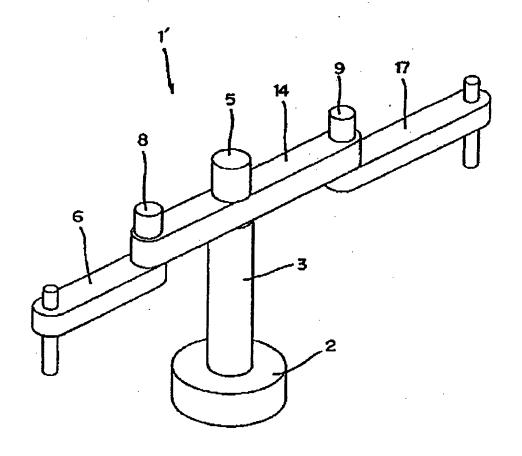
公開実用平成 3-71887

第4図



1168

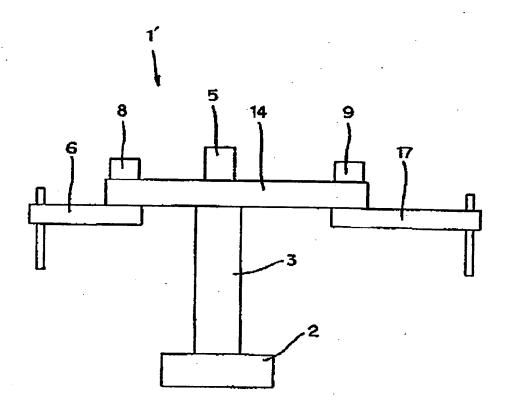
実開3-71887



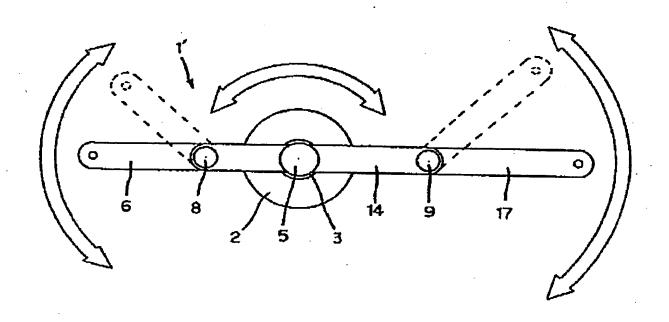
1169 実開3-71887。 出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西 野 卓 嗣(外2名)

公開実用平成 3-71887

第6図

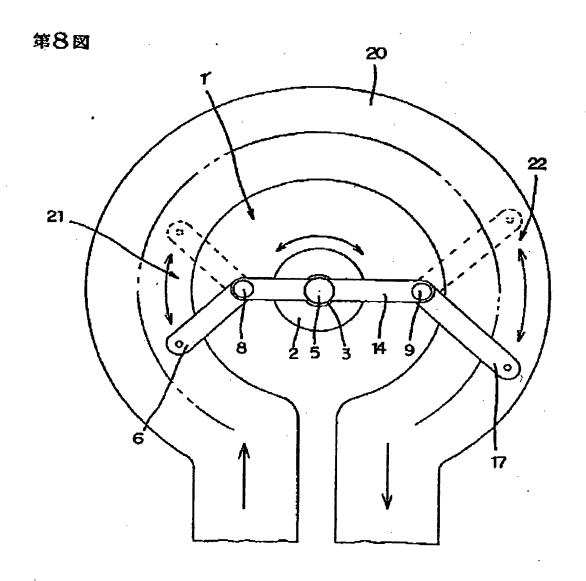


1170 実問3-71887 出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西 野 卓 嗣(外2名)



実際の一つではない。

公開実用平成 3-71887



1172 実開3-71887 出願人 三洋電機株式会社 代理人 弁理士 西 野 卓 嗣(外2名)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:
☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Потить

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.